

第3期標茶町地球温暖化防止実行計画進行管理

本町では、町の事務事業で排出する温室効果ガス（主に二酸化炭素）の抑制を目的に「第3期標茶町地球温暖化防止実行計画（令和3年度～令和7年度）」を策定しています。計画の対象は町有施設や公用車などで、毎年度結果を公表しています。

◎令和3年度の状況（進行管理）を公表します。

（△は減）

区 分	基準年度 （平成25年度） 排出量	令和3年度実績		
		排出量	増減量	増減率
ガソリン	160 t	161 t	1 t	0.6 %
軽油	897 t	728 t	△ 169 t	△ 18.8 %
灯油	674 t	899 t	225 t	33.4 %
A重油	2,122 t	1,186 t	△ 936 t	△ 44.1 %
LPガス	45 t	36 t	△ 9 t	△ 20.0 %
電気	2,799 t	2,677 t	△ 122 t	△ 4.4 %
廃プラスチック	1,101 t	1,239 t	138 t	12.5 %
廃プラスチック	14 t	33 t	19 t	135.7 %
合 計	7,812 t	6,959 t	△ 853 t	△ 10.92 %

※廃プラスチックは焼却量です。

【第3期 実行計画の排出量削減目標】

7,812t	⇒	△23%	⇒	6,016t
基準年度（平成25年度）		削減目標		目標年度（令和7年度）

結果分析

- ・基準年の平成25年度に比べて、二酸化炭素の排出量は853t、10.92%の減少となりました。
 - ・二酸化炭素排出量減少の主な要因は軽油・A重油使用量の減少によるものです。
 - ・軽油については、町有車両の計画的な入れ替え、配置により、燃料が軽油からガソリンに代わったため、二酸化炭素排出量が減少しています。今後も環境に配慮した車の入れ替えや業務の見直しなどによる削減に努めます。
 - ・A重油については、各施設の改築・廃止に伴い二酸化炭素の排出量が著しく減少しています。
 - ・電気については、二酸化炭素排出量は下がっているものの、使用量は増加しているため、日頃からの節電にご協力をお願いします。
 - ・ごみとして出るプラスチック類が平成25年度に比べ、大幅に増加しており、二酸化炭素排出量が増えています。これは、燃やせるごみの中に混ざっている廃プラスチック類の割合が増加していることが原因です。
- 各家庭での資源ごみの分別にご協力をお願いします。

「第3期標茶町地球温暖化防止実行計画」の内容は以下のとおりです。

- ・期間 令和3年度～令和7年度の5年間
- ・排出量削減目標 基準年（平成25年度）より23.0%減年間目標として毎年4.6%減

本町は2022年3月に脱炭素を目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言しました。さらなる排出量削減に向けて、役場全体で積極的に取り組んでいきます。皆様のご理解とご協力をお願いします。

令和3年度二酸化炭素排出量構成比

